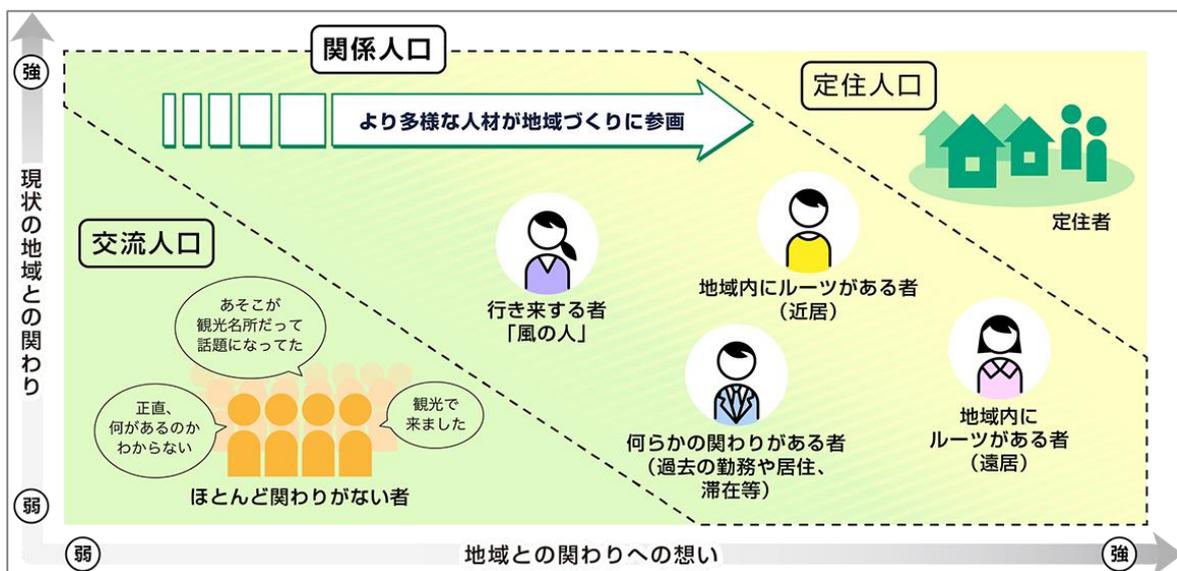


用語解説

1 関係人口

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指します。

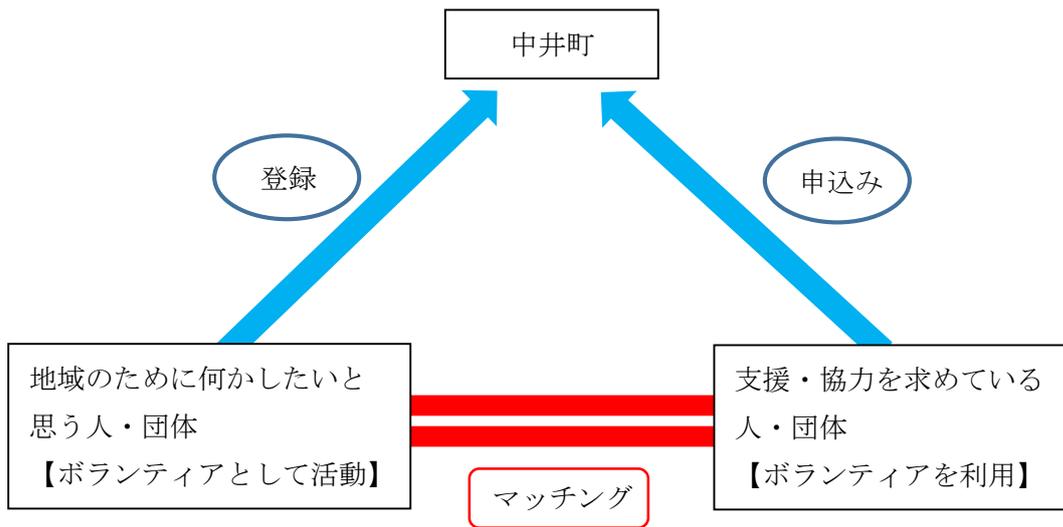
地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。



出典：総務省 関係人口ポータルサイト

2 まちづくりパートナー制度

「まちづくりや地域のために何かしたい、役に立ちたい」と思う人と、支援・協力を必要としている個人・団体等とを結びつけるボランティア制度です。



3 子育て支援センター

子育て支援センターでは、親子で気軽に利用できる「ひろば」の運営、子育ての不安や悩みに対する相談及びアドバイス、子育て情報の提供等の事業を行っており、育児中の保護者の仲間づくりの場としても利用できます。子育てアドバイザーが常駐しています。



4 ネウボラ（里都まち♥なかいネウボラ）

ネウボラとはフィンランド語で「アドバイスの場」を意味します。

「里都まち♥なかいネウボラ」では、専任の相談員として、母子保健コーディネーターを配置し、妊娠・出産・子育てについての様々な相談を受付けています。安心して出産を迎え子育てができるよう、不安な気持ちや悩みを気軽に相談できる環境を整え、妊娠期～出産～産後の継続した関わりを創出しています。



産後ほっとステーションの様子

5 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。



総合型地域スポーツクラブの前身組織
「里都まちぷらっとスポーツ」主催の
クライミングイベントと
パラスポーツ体験会の様子

6 未病センター・なかい健康づくりステーション

未病とは、健康から病気に向かっている状態のことです。

未病センターは、手軽に健康状態や体力等をチェックし、その結果に基づくアドバイスや未病改善の取組のための情報を受けられる場です。

本町は、保健福祉センター内に、未病センターである「なかい健康づくりステーション」を整備し運営しています。



7 サロン活動

地域住民の交流の場、助け合いの場として、近隣住民がいつでも、自由に集まり活動できる居場所です。

8 安心・安全メール

「安心・安全メール」とは、あらかじめ登録した携帯電話やパソコンなどへ、中井町の災害、防災防犯等の情報を電子メールで配信するサービスです。